

# 消費生活センターです

「名義を貸して」「代わりに買って」は詐欺  
古銭の購入に関連したトラブルにご注意!



## 相談事例

古銭業者を名乗る業者A社から電話があり、「古銭のパンフレットが届いていないか」と言われ、「届いていない」と答え電話を切った。後日、B社からパンフレットが届いた。A社から電話があり「パンフレットが届いた人に古銭を購入する権利がある。買う予定がないなら、他に買いたい人がいるので名前を貸してほしい。謝礼として100万円用意している」と言われた。その後、B社から電話があり「あなたの名前で古銭を購入したことになるので、その行為は違法となる。このままだと訴えられる。中央省庁に知人がいるから穏便に解決できるが、そのためにはお金がいる」と言われ、「訴えられたら困る」と思い、50万円を宅配で送ったがその後A社ともB社とも連絡がつかなくなった。(80歳代 女性)

めという理由でお金を宅配便などで送るよう指示し、連絡がとれなくなるトラブルが発生しています。

## 対策

- ①「名義を貸して」「代わりに買って」などと持ちかけてくる不審な電話は買え買え詐欺です。
- ②「権利が残るかわずか」「今すぐ決めないと間に合わない」など契約や支払いを急がせる場合は怪しいと考え、簡単に支払わないようにしましょう。一度お金を払ってしまうと取り戻すことは極めて困難です。
- ③留守番電話機能なども利用して下さい。一度電話に出ると切りにくくなります。番号非通知や知らない番号には出ないという方法もあります。

## 問い合わせ先

市消費生活センター  
(合志庁舎2階 総務課内)  
☎(248)5442  
平日 午前10時～午後4時

# 市民のひろば

## 青空に向かって高く跳べ 棒高跳びで高校総体・国体で上位入賞

7月30日、和歌山県の紀三井寺公園陸上競技場で行なわれた全国高等学校総合体育大会の男子棒高跳び決勝で、九州学院高等学校の中村仁さん(東)が5mの記録で5位に入賞しました。

中村さんは、10月2日の和歌山国体でも4m90cmの記録で4位に入賞。「けがで跳躍の練習ができない時期もありましたが、監督をはじめ周りの人たちの応援で入賞することができました」と喜びを語りました。



高校総体で決勝戦に挑む中村さん

## 奇跡は自分で起こすもの ジュニア五輪夏季水泳競技大会で優勝

8月22日、東京都で行なわれた第38回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会に西合志中学校1年の久保田梨琉さんが出場し、11～12歳女子50m自由形で見事優勝に輝きました。

久保田さんは「予選では8位だったので、優勝できたときは驚いた。“奇跡は自分で起こすもの”という春岡杜史子先生の言葉を胸に、次は今以上の最高の泳ぎで春のJOCを制したい」と気持ちを語りました。



優勝した久保田梨琉さん

## 練習の成果を発揮 熊本県小学生テコンドー大会

8月30日、宇城市で行なわれた第41回熊日学童オリンピックテコンドーに熊本県テコンドー協会合志支部の児童が参加し、次の成績を取めました。

- 1・2年 軽量級 優勝 芋生 陵 (西合志南小1年)  
準優勝 本田 歩夢 (西合志南小1年)
- 3・4年 重量級 優勝 河野 瑛翔 (合志南小4年)  
軽量級 準優勝 久松 功実 (南ヶ丘小4年)
- 4・5・6年 女子の部  
準優勝 西本 唯夏 (合志南小6年)



合志支部の合志道場・西合志道場のメンバーが力を発揮しました

## 国際千唐流空手道連盟日本千唐会 第14回全日本選手権大会

8月23日、菊池市で行なわれた国際千唐流空手道連盟日本千唐会の第14回全日本選手権大会で、武豊館のメンバーが活躍し、次の成績を取めました。

- Jr.B 有段男子個人形 優勝 平 昂流 (西合志南中3年)
- Jr.B 有段男子個人組手 準優勝 茅野刀志郎 (西合志中3年)
- 一般男子団体組手 敢闘賞 福嘉 智尋 (玉名市 一般)
- Jr.D 女子個人形 3位 新居明矢子 (西合志南小6年)
- Jr.E 女子個人組手 敢闘賞 松永 沙樹 (西合志南小5年)
- Jr.F 女子個人形 敢闘賞 後藤 花音 (西合志東小2年)
- 敢闘賞 島津 藍嘉 (熊本市 小学1年)



メンバー全員が気持ちを一つにして大会に臨みました

# こうし 歴史発見

第58回

## 合志市内の記念碑③ 合志郡記念碑

今では無くなった「合志郡」の名が、実は1183年もの間続いていたことをご存知でしょうか。日本で最も古い書物である日本書紀には、合志郡は「皮石郡」と書かれています。その後、和銅6(713)年に朝廷から出された「諸国の郡郷名は好字(よきじ)で著せ」との通達により、合志郡に改められたと言われています。

当初、合志郡は現在の熊本市北区植木町一帯が属していた旧山本郡を含む広大な郡でしたが、平安時代前期の貞観元(859)年、山本郡は合志郡から独立します。

細川藩政時代の合志郡の広さを知ることのできる地図が「合志郡絵図」としてヴィーブル3階の歴史資料館に保管されています。それを見ると、ほぼ中央に竹迫町があり、北西部は旧七城町、北は旧旭志村、東は旧津町、南西部には白川を越えた熊本市の弓削、石原、吉原、小山、御領までが描かれており、合志郡が広大で



竹迫城跡公園の東側芝生の一角にある合志郡記念碑

あったことが分かります。明治29(1896)年、政府は郡制改革を進め、県内では飽田郡と託麻郡が「飽託郡」になり、山鹿郡と山本郡が「鹿本郡」になり、各郡名の一字を取った名称になりました。しかし、合志郡と菊池郡の合併については、政府に上申した「菊池合志郡」も、再上申した「菊志郡」も許可されず、南北朝期の菊池一族の名を取り「菊池郡」に決定され、1183年間続いた合志郡の名は消えました。平成6年、この歴史ある郡名を後世に伝えようと、旧合志郡13町村の有志が「合志郡記念碑建設期成会」を組織。郡名が消えて100年目に当たる平成7年、合志郡の中心とされる現在の位置に合志郡記念碑を建立しました。

この記念碑は、「合志郡絵図」とともに、合志郡の名を後世に残す本市の貴重な歴史資料です。